

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和3年 2月 5日

事業所名 放課後等デイサービス 明日の輪

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	4		研修、休みなどで応援が必要な時がある。日によっては職員の不足を感じる。	児童が安心して利用できるよう人員配置を増やす方向で検討中
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		パート職員については勤務時間の中で会議への参加が十分に時間が取れないことがある。	勤務形態が違う為時間がとりにくいが、定期的に会議を行えるよう配慮する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		HPでの掲載は毎年行っているが、会報等は発行していない。今後は未定だがHPでの掲載を行う
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月の研修（年間計画）以外にも必要があれば別に内部研修（手話など）を行っている。	知識向上の為、外部研修も参加できる機会を設ける
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	担当を決め活動案を話し合い決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		その日の気になった様子は職員間で話し合い情報共有を行っている。 振り返りができない時は翌朝行う。パート職員は翌日の出勤時に共有することになっている。	報連相を確実にし、情報共有を行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		積極的に学校の先生にどのような様子だったかを聞くようにしている。 担当者会議で共有する様務めている。	送迎時、学校の様子や家庭での様子等を聞くことができる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	医療的ケアが必要な子供を受け入れる体制にない。	看護体制は整えられていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	利用児が在籍していた園や事業所により対応が異なる。 個人的に直接関係したことがない。	情報共有できていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3		卒業生が少ない。事業所への情報提供は卒業生によって異なる。	過去3名の卒業生を輩出してきたが、情報提供した実績はない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	コロナ感染拡大防止のため、屋外活動では他との交流接触を避ける活動をしている。	コロナ対策の為、同法人内の交流も避けている状況である
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	個別に相談に出向く。 電話対応による相談を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談を受けた経緯はないが、相談を受けた場合適切な助言ができるか不安である。 相談は持ち帰り話し合い対応する。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	コロナ感染拡大防止上、例年行っていた保護者会を行えていない。	今年度実施できておらず来年度実施を検討
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	児童の活動の様子をアップする頻度が定まっていないため、定期的にあげていく。 放デイのみの様子はフェイスブックだけなので会報を作成し保護者に情報を共有できるよう検討する。	定期的にFacebookを更新を実施する
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	コロナ感染拡大防止上行っていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		策定し日中の支援の中で訓練も行っているが、文書を通してのお知らせにとどまっている。	コロナ感染拡大しており、文書でもご家庭で気を付けてほしいことを伝えている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	アセスメントシートやアンケートで確認を行っている。 医師の指示書が必要な子供はいない。 必要な場合、保護者様からの情報を医師に伝えて支援に役立てるようにする。	保護者からの聞き取りを確実に行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			